



2



3

- 1)「この工法はとても難しかった」と浅川社長が振り返った屋根。緩やかに後方に向かって流れるガリバリウム銅板が、最後尾で15度の角度で折れ曲がり、そのまま内側に切れ込んでいる。
- 2)雑木林の中に行むT様邸。周囲の景観に溶け込み、美しい風景を創り出している。
- 3)ダイニングキッチン。上に向かって斜めに広がる壁が、奥行きを感じさせる。お気に入りの場所に座るご主人。左側には、サンルーム、デッキ、そして緑の木々へと、暮らしの舞台が広がっている。
- 4)たっぷりの日差しが差し込むサンルームには、ハンモックを吊るして。



4

今年の夏に完成したばかりのT様邸。
建築家山崎雅雄氏の設計を、
浅川建工が施工した。

週末は、都会の喧騒を離れ、自然の中へ。
ゆっくりとした時間に身を任せ、心も体も軽くなり、
いつもより少し優しくなって、家族と向き合う。
この家は、そんな休日をご過ごすにふさわしい。

雑木林に囲まれた、
美しい家

中央道小淵沢インターからほど近い雑木林の中に、一目をひく建物がある。後ろ側に向かって滑らかに流れ落ちた屋根が、背後で15度内側に折れ曲がると、そのまま壁となって地面に向かって二気に切れ込んでいくユニークな形状。正面には、屋根まで続くガラス窓。その真ん中に、薪ストーブの黒い煙突がスッと伸びている。白と黒のコントラストが効いたスタイリッシュな佇まい。不思議と周囲の自然に溶け込んで、緑の木々と共に豊かな風景を創り上げている。

出迎えてくれた奥様が、「丸見えでしょ。ブラインドを付ける予定ありません。」「前ですけれど、間に合わなくて...。前の道を歩いている方が、皆さんこちらを眺めながらゆっくりと歩いて行かれるので、なんだか恥ずかしくなってしまうんですよ」と朗らかに笑う。きっと観光客が、美術館なのか、レストランなのかと、気配を窺っているのだろう。その気持ちがよくわかる。

八ヶ岳南麓で楽しむ、
もう一つの暮らし



こだわりのテイストにお応え致します。



アイデアでつくる。情熱で設計する。
住まう人の想いをつないでいきます。



Asakawa Kenko
有限会社 浅川建工
代表取締役 浅川 重直

<http://www.a-kenko.jp/>
E-mail : info@a-kenko.jp

〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出2284-2
TEL : 0551-38-0165 FAX : 0551-38-0467



**奥様とお母様、
お二人の夢の実現に向けて**

実は、この家にはもう一つの顔がある。「母にはカフェをやりたいという夢があり、エントランスにトイレを造ったり、デッキやサンルームを広くとったりしているのはそのためなんです」とご主人。一方、奥様はいつか絵本作家になりたいという夢を持ち、現在勉強中とのことで、「時間を気にせず構想を練ったり、絵を描いたりすることのできるアトリエが欲しかった。とても素敵な部屋を作っていたら、とても頑張らなくちゃ」と意気込む。

兼ねもあるんですが、ここでは伸び伸びとできるので子ども達も嬉しそう。視線の先には、元気に走り回る姉弟の姿がある。隠れ家みたいで楽しいだろうと、お願いして作ってもらったご夫妻の寝室とアトリエを結ぶトンネルは、今や子ども達の恰好の遊び場。最初は怖がっていた梯子も、すぐに慣れて難なく上り下りできるようになったという。「今までお休みのときには家族ぐるみでお付き合いをしている友達家族と旅行することが多かったけど、これからは、ここを拠点にいろいろと楽しもうと思っています」とお二人。華やかな笑顔が広がった。



5) 解放感たっぷりのリビング。戸外の景色を取り込むことで、実際よりも広く高く感じさせている。
6) 透明なガラスで仕切られたバスルーム。斜め上へと広がる浴槽の壁と窓の外に広がる緑豊かな風景が、ゆったりとしたバスタイムを演出。
7) リビングの上部にあるロフトは畳スペースに。正面には大きな窓があり、風景を楽しみながら寛げる、気持ちの良い場所になっている。



8) 奥様のアトリエの壁は、アイデアを書き留めておけるよう一面を黒板に加工。ガラスの仕切りと重厚な引き戸で、絶妙な独立感を演出。
9) 2階にあるご夫妻の寝室。ここアトリエをつなげた収納スペースは、まるでトンネルのよう。子ども達の絶好の遊び場になった。
10) アトリエには、原画を置く棚を設置。収納スペースへの梯子も、インテリアのよう。

VOICE 浅川建工 浅川 重直

技術もセンスもステップアップ!
新たな展開に、ご期待ください。

この家は、高い場所と低い場所の対比、透明なガラスと重厚感のある壁の対比など、さまざまな手法を駆使し、限りある空間を、より広く開放的に見せています。また、ガラスの仕切りや壁の納め方、階段やロフトの棚の厚さ、スイッチの位置など、すべてにおいて細部に至るまで計算されており、その積み重ねが全体の美しさを創り出しています。ログハウスや天然木を使ったナチュラルテイストの家を得意とする私たちにとって、デザイン性の高いT様邸の施工を担当することは挑戦でしたが、非常に勉強になりました。今回受賞した様々なニックは、今後の家づくりに取り入れていきます。ご期待ください。

設計
一級建築士事務所 **株式会社山崎雅雄建築研究室**
東京都渋谷区富ヶ谷1-10-2 AsHEITZ-B
TEL / 03-5790-2945 FAX / 03-5790-1945 mail / info@yamazaki-archi.co.jp

HOUSE DATA ●所在地 北杜市 ●家族構成 夫婦、子ども3人 ●間取り 4LDK、ロフト、サンルーム、テラス ●竣工 2015年7月

自然の息吹を感じながら、ゆったりと過ごす優しい時間

ゆったりとした時間が流れる、解放感たっぷりのリビングダイニング。実際よりも広々とした感覚になるのは、透明なガラスの仕切りのおかげだろう。四方に設けられた窓からほどよい日差しが差し込み、なんとここちよい空間となっている。さらに、窓の外には豊かな自然。風によく木々がサラサラと奏でる音色まで聞こえて来そう。室内に聞こえることを忘れてしまう。

普段は東京にお住まいのT様ご夫妻。共に仕事を持ち、忙しい日々を送っているという。「7月末に完成したので、今年の夏は毎週末こちらに来ていましたね。何しろ気持ちも良く、眠りも良いので、疲れが取れるんです」。ダイニングの椅子に座り、二番のお気に入りの椅子に座る。今年はお話すご主人に、「そういえば、今年はどこへも行かなかったわね。ここにいと時間を忘れてしまおうかしら」と、にこやかに応じる奥様。ここにあるのは、ごく当たり前の日常。ギヤラリーを彷彿とさせるオシャレな空間なのに、気負わず過ごせる温かな雰囲気に満ちているのは、このご夫妻の人間がなせる業なのだろう。